

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年7月24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103189		
法人名	社会福祉法人広島常光福祉会		
事業所名	グループホームげんき福田		
所在地	広島県広島市東区福田5丁目1168番地1 ☎(082)899-7588		
自己評価作成日	令和元年7月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103189-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年7月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者1人1人の能力を全職員が把握、情報共有し日々の支援を行っています。利用者職員が家事全般において共同し一緒に施設を運営することを目標としています。利用者家族とも同様に度々連絡し情報共有しています。町内会に加入し町内清掃に参加、ボランティアの受入、他部署との交流事業等と充実した生活を送れるように工夫しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームが掲げる「繋がる」を実践しており、利用者一人ひとりに寄り添い、本人の思いや意向を尊重する介護を行っています。管理者と法人の姿勢が一致していることで相乗効果が生まれ、ホームで年間研修計画を作成し、研修で学んだことを活かせる現場となっています。カンファレンスを通じて個々の思いを把握して共有し、ケアプランに取り入れる事で「個別ケア」の実現が可能となっています。職員を大切にする法人の考えにより、3連休制度を利用して気分をリフレッシュすることで、家庭と仕事を両立し無理なく働ける安心した職場の環境づくりに取り組まれています。運営推進会議において、事業所運営に関する提案を討議した諸事項を速やかに実践し、より良い事業所に成長し地域から福祉、介護に関する相談が寄せられ、アドバイスや関係機関につなげ、地域に根ざした事業所として発展されています。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を掲げ日々努力しています。その理念をより細かくした目標を毎月掲げ実践しています。結果は毎月の職員会議にて実践出来た点、反省点等挙げています。	法人の理念を掲げ、その理念に添ってホームの「繋がる」の目標を定め、「地域や家族との繋がりを大切にし、家庭的な雰囲気の中で利用者が毎日笑顔で過ごせる」と実践につなげ、地域に信頼される施設づくりを挙げ、職員全員で理念の実現に向け取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、役員、町内清掃や各種行事の準備から参加し交流を深めています。運営推進会議にも地域の方をお招きし情報交換を行っています。	ホーム周辺での散歩や買い物に出掛けたり野菜等の差し入れ等の機会を通して交流を図っています。また、大平町内会の秋祭りにはホーム玄関に神輿が訪れ利用者と地域との繋がりができ、関わりが多く持てるよう、踊りや歌、洋裁等のボランティアも受け入れ活発に実践しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	「認知症アドバイザー養成講座受講者」が1名おり、認知症全般において支援方法等を地域に活かせるように備えています。随時施設見学を受け付けております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者とその家族、地域包括支援センター職員、町内会の方、職員が出席し、2ヶ月に一度開催しています。職員内の専門職や出前講師等による勉強会、意見交換会を行っています。	運営推進会議は、町内会長、地域代表、家族代表、地域包括支援センター、自主防災会長、ホーム職員など、多彩なメンバーが集まり事業所からの各種報告の後、参加メンバーによる意見交換が交わされ、貴重な意見が出されて運営に活かされています。	運営推進会議を通して地域交流に努め、会議の内容、進め方の工夫や意見交換など、情報交換の場としていかなるよう検討して頂き、今後の課題を検討するとともに、地域や家族等からの提言や質疑応答などの記録を残し、積極的に取り上げることを期待したいです。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町、区役所担当者との連絡は密に行い何かあった際には、報告、連絡、相談しています。	利用者の状況に応じて市の保護担当者から意見を貰うなど、必要な時期に助言が得られる体制があり、事業所の利用状況等を伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいます。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束会議を2ヵ月に一度行っています。常に職員の中に意識と知識を持てるようにしています。</p>	<p>2ヶ月毎に職員会議にて「スピーチロック」（言葉の拘束）に関しては、日々の介護業務の中で無意識に使われていることに気づく勉強会を行っているほか、管理者、ユニットリーダーは、日々の業務の中で、職員に対して不適切ケアの指導を行い振り返りを行うなど、適切なケアを実践に努めています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年に1回の勉強会とは別に 身体拘束会議の中でも話をしています。虐待がなされる背景まで掘り下げて取り上げています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会の実施や資料が有ればだれでも見る事が出来る様に提示します。現在も以前にも成年後見人をつけていらっしゃる入居者が居ります。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者と家族さまに説明をさせていただいた後、了承を得てサイン・捺印頂いており、契約書、重要事項説明書を事業所と利用者それぞれに保管しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>サービス担当者会議や面会時 運営推進会議と直接意見を頂ける機会を設けています。またご意見箱の設置や苦情相談窓口のご案内も行っています。</p>	<p>日中は活動的に過ごして貰いたい家族の意向に、野菜の皮むき等を慣れた手つきで手伝ったり、食器の配膳、畑の手入れなど、これまでの暮らしの中にも季節感のある手仕事が利用者に提供されています。また、家族の面会時に担当者が不在であっても、どの職員も現状を報告できる共有力ががあります。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一回の職員会議、フロアー会議、係り別会議を実施。意見交換の場を設けています。</p>	<p>毎月の各会議では意見を言いやすいように一人ひとりに発言を促しており、管理者、ユニットリーダーが、日々の業務の中で、個別に面談をおこなっています。ストレスを溜めないよう、勤務体制、代出シフト調整や3連休希望等のカバー協力が相互にできています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の勤務状態を把握。年に二回の人事考課を実施。管理者は個別での面談を行い各自の意見を聴く事が出来ています。託児を利用する職員の意見から改善を求め、改善された実績も有ります。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修には積極的参加を促しています。資格取得には法人からの補助も有り職員全体のスキルアップを目指しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修や勉強会 行事を通じ 交流の機会を設けて意見交換や意識とサービスの向上をめざしています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>情報をまとめサービス開始までに 職員全員で周知徹底し 受入れの体制を整えています。声掛けや見守りから想いをくみ取り職員間で情報の共有に勤めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面接や入所時には必ず意見や希望を伺っています。またいつでも相談を受けられる体制にしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>常に新しい情報を得るような体背にしています。必要時には他のサービス利用も可能です。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来る事を出来る様に援助していく事を常とし、家庭的な雰囲気の中、自立を促していけるような声掛けを行っています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>情報の共有を行うことで、家族と共に支え合う関係の構築に努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族の了承があれば面会は自由に行っています。外出も家族様同伴の元、自由に行えています。外出がしやすい様準備の支援を行っています。外部からの電話や手紙も受ける事が出来ています。</p>	<p>日常の会話の中で意識して「何処行きたい？」と聞かれたり、また入浴中、職員と1対1のとき本音が出る事が間々あるとのことで、日頃より入居者の想いを汲み取る姿勢を持ち、馴染みのお芝居や踊りなど、ボランティアの協力もあり継続して実践しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日を楽しく生活して頂けるように集団レクへの参加、個別レクの実施、各ユニットごとの交流時間を設けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	法人内の施設等に転居されても、出会った時には入居者と家族には声を掛けさせて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時のアセスメント時には本人、家族にしっかり聞き取りを行っています。日々接している中で希望等を聴いたら即対応出来るようにしています。	個別に利用者の担当職員が決まっておりますが言葉で伝える事が困難な場合には、日々の生活の中での何気ない会話や表情等の観察を個人記録に残し、3ヶ月毎のカンファレンス時に話し合っており、本人の思いに添った意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所までの面接時等に本人、家族に必ず聞き取りを行っています。馴染のある本人の持ち物を居室で使用出来るように配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	支援する前に、記録と申し送りで、直近の様子を確認しています。細かな様子まで記録に残しています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、主治医、職員間で意見を出し合い介護計画に反映させています。家族との面会時に意見交換を行っています。</p>	<p>3ヶ月毎に「アセスメント→評価→職員とのケアカンファレンス→家族カンファレンス→介護計画」を継続することにより、入居者のQOL向上につなげることが出来ており、入居者の希望やできる力に目を向け、利用者、家族の思いに沿ったケアを多職種と協働して取り組んでいます。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の一日の様子が分かりやすいように項目別に、色分けにて記録に残しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>介護計画で計画したとしても、本人、家族より希望あれば即変更しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会に加入し、地域との繋がりを大切にしています。町内会行事には積極的に参加しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医がグループホームから近く、急変時にはすぐに対応して下さいます。主治医以外の受診希望者には家族の協力も得られるように事前に説明しています。</p>	<p>ホームに隣設する協力医は24時間オンコール体制が整っています。専門医等の他科受診には家族や職員が付き添い、家族、医療との情報提供をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力医療機関の看護師と訪問看護の契約を行っています。急変時にはすぐに受診出来る体制を取っています。協力医が近くにいるのも本人、家族も安心されます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はすぐに情報提供を行っています。経過状況を確認する為に病院相談員との連絡は密に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所前の面接時と契約時には重度化した場合には対応出来ない場合もあると説明し、本人、家族が納得されたからの入所としています。協力医療機関と医療連携体制契約を結んでいます。	入居の際に重度化した場合の指針など、書面にて説明し同意を交わしています。体調変化の、その都度話し合い対応を相談して、ホームでの対応が困難な状況になれば、適切な医療機関、併設の特養へ移行など、連携して支援する方向で取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年間計画で勉強会内容に必ず入れ、職員全員で情報共有しています。事故等あった後にはその経験を活かせるように職員全員で見直し、検討を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回は訓練を行うように計画を立てて毎年施行し、その内1回は夜間を想定しています。訓練には、家族、地域の方、消防職員にも声をかけ合同訓練を行えるように計画しています。職員は法人内の施設へも訓練参加しています。	併設事業所と合同で年2回実施の訓練には消防署職員の立ち合い地域住民、家族等が参加し「ふくだの里合同防災訓練」実施して協力体制が築けています。夜間火災発生の想定訓練では、消火器を使った出火を想定したより具体的な防火訓練が行われています。昨年の豪雨対策に地域の職員で「緊急連絡網」作成など検討しています。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	必ずプライバシー保護の勉強会も計画し職員全員で行っています。	利用者の人格の尊重やプライバシーの確保の意義を学ぶための勉強会「プライバシーの保護」等を2月に実施し、適切な対応に努めており、職員相互に声かけなどに注意を払い、利用者の尊厳を守り、プライバシーを損ねない支援を実践しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者が何でも言える環境づくりを行っています。自己決定ができるよう工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日をどう過ごしたいか希望を聞いています。食事時間、臥床時間、起床時間など一人ひとりのペースに合わせて支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日本人が着たい服を選んで頂き着てもらっています。衣替えは本人、家族の協力して頂き行っています。本人の希望を聞き月1回来て下さる理美容を利用しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	おかずの盛り付け、配膳、食器洗い、食器拭きなど一人ひとりを活かし楽しく職員と一緒にしています。	主菜、副菜2品でボリュームある内容で、時には近所からの差し入れの野菜料理が食卓に出され、皆さん「美味しい」を連呼され、完食されています。おやつは、できるだけ家庭的な手づくりのものが提供されています。月1回の行事食では利用者と職員と一緒に食事を作り共に食すなど、楽しむ事を実践しています。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量を毎食時記録に残しています。一人ひとりの嚥下、咀嚼状態に合わせ食事形態をかえ支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後歯磨きを行い口の中を清潔を保っています。夜間は入れ歯洗浄剤を使用しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を用い入居者の排泄パターンを把握し失敗を少なくするよう声掛けしトイレに誘導しています。	利用者の状態を把握し、タイミングを見て声かけし、トイレでの排泄を支援することで、状態が良くなり、リハビリパンツ交換からパンツの確認に介護計画が見直された改善例があり実践されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日体操や廊下歩行を行い乳製品、かんてんゼリーを積極的に摂取しスムーズに排便が出来るよう工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	本人の希望や体調に合わせて入浴を行っている。出来る事は行って頂き本人のペースで入浴しています。	午前、午後の、その日の入浴者を決め体調を見ながらチェック表を確認し入浴しています。入浴拒否の利用者には、間をおいて「お風呂」の言葉を避け何となく良い気分で誘い、湯につかれれば気持ち良くなるように上手く誘導しています。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの生活習慣を把握し その人が安心して眠れるよう支 援しています。また午後からも居 室で休息して頂けるよう支援助 しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	定期的に薬剤師より薬剤指導を 受けています。薬を管理し服薬 確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	入所時に家族に生活歴、趣味な どを聞き施設で楽しく過ごせる よう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。	その日の本人の希望に応じて外 に散歩や畑に行き支援していま す。家族に協力して頂き外出を しています。	近くの大型店に希望があると、 利用者の状況に合わせた外出や 併設の特養売店への付き添い など、支援をしています。レク リエーションではドライブや 花見に出かけ、家族参加の行 事等では、家族に現地集合、 現地別れと工夫された取組み を実践しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	家族の承諾の元、本人の希望 の応じています。またほしい物 があれば職員と一緒にお店に行 き購入しています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の要望があれば電話や手紙のやり取りが出来るよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間は刺激に配慮し不愉快にならないよにしています。リビングに季節に応じた飾りや壁画を入居者と一緒に作り飾っています。</p>	<p>日当たりの良い共有スペースは明るく、利用者と一緒に作った季節の創作品などが飾られています。換気にも配慮し快適な室温が保たれており懐かしい唱歌が流れていてソファでくつろいだり、対面式キッチンでは職員との会話も弾み和やかな雰囲気が醸し出されています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファや椅子を置き入居者同士が話が出来よう工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人の使い慣れた家具などを持ってきて頂き本人が居心地よく過ごせるよう家族と相談しています。</p>	<p>居室は住み慣れた自宅の延長として、安心して違和感なく過ごせるように、思いある品々の持ち込み、主体性のある暮らしが垣間見え居心地よく過ごされています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室や共有場所に表札を付けて分かりやすくしています。入居者の歩行の妨げにならないよう配慮しています。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を掲げ日々努力しています。その理念をより細かくした目標を毎月掲げ実践しています。結果は毎月の職員会議にて実践出来た点、反省点等挙げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、役員、町内清掃や各種行事の準備から参加し交流を深めています。運営推進会議にも地域の方をお招きし情報交換を行っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	「認知症アドバイザー養成講座受講者」が1名おり、認知症全般において支援方法等を地域に活かせるように備えています。随時施設見学を受け付けております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者とその家族、地域包括支援センター職員、町内会の方、職員が出席し、2ヶ月に一度開催しています。職員内の専門職や出前講師等による勉強会、意見交換会を行っています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町、区役所担当者との連絡は密に行い何かあった際には、報告、連絡、相談しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束会議を2ヵ月に一度行っています。常に職員の中に意識と知識を持てるようにしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年に1回の勉強会とは別に 身体拘束会議の中でも話をしてしています。虐待がなされる背景まで掘り下げて取り上げています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会の実施や資料が有ればだれでも見る事が出来る様に提示します。現在も以前にも成年後見人をつけていらっしゃる入居者が居ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者と家族さまに説明をさせていただいた後 了承を得てサイン 捺印頂いており 契約書、重要事項説明書を事業所と利用者それぞれに保管しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	サービス担当者会議や面会時 運営推進会議と直接意見を頂ける機会を設けています。またご意見箱の設置や苦情相談窓口のご案内も行っています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一回の職員会議、フロアー会議、係り別会議を実施。意見交換の場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の勤務状態を把握。年に二回の人事考課を実施。管理者は個別での面談を行い各自の意見を聴く事が出来ている。託児を利用する職員の意見から改善を求め 改善された実績も有る。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外の研修には積極的参加を促しています。資格取得には法人からの補助も有り職員全体のスキルアップを目指しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修や勉強会 行事を通じ 交流の機会を設けて意見交換や意識とサービスの向上をめざしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	情報をまとめサービス開始までに 職員全員で周知徹底し 受入れの体制を整えています。声掛けや見守りから想いをくみ取り職員間で情報の共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面接や入所時には 必ず意見や希望を伺っています。またいつでも相談を受けられる体制にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	常に新しい情報を得るような体背にしています。必要時には他のサービス利用も可能です。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来る事を出来る様に援助していく事を常とし、家庭的な雰囲気の中 自立を促していけるような声掛けを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	情報の共有を行うことで 家族と共に支え合う関係の構築に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の了承があれば面会は自由に行っています。外出も家族様同伴の元 自由に行えています。外出がしやすい様準備の支援を行っています。外部からの電話や手紙も受ける事が出来ています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日楽しく生活して頂けるように集団レクへの参加、個別レクの実施、各ユニットごとの交流時間を設けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	法人内の施設等に転居されても、出会った時には入居者と家族には声を掛けさせて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時のアセスメント時には本人、家族にしっかり聞き取りを行っています。日々接している中で希望等を聴いたら即対応出来るようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所までの面接時等に本人、家族に必ず聞き取りを行っています。馴染のある本人の持ち物を居室で使用出来るように配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	支援する前に、記録と申し送りで、直近の様子を確認しています。細かな様子まで記録に残しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、主治医、職員間で意見を出し合い介護計画に反映させています。家族との面会時に意見交換を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者の一日の様子が分かりやすいように項目別に、色分けにて記録に残しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	介護計画で計画したとしても、本人、家族より希望あれば即変更しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会に加入し、地域との繋がりを大切にしています。町内会行事には積極的に参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医がグループホームから近く、急変時にはすぐに対応して下さいます。主治医以外の受診希望者には家族の協力も得られるように事前に説明しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力医療機関の看護師と訪問看護の契約を行っています。急変時にはすぐに受診出来る体制を取っています。協力医が近くにいるのも本人、家族も安心されます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はすぐに情報提供を行っています。経過状況を確認する為に病院相談員との連絡は密に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所前の面接時と契約時には重度化した場合には対応出来ない場合もあると説明し、本人、家族が納得されたからの入所としています。協力医療機関と医療連携体制契約を結んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年間計画で勉強会内容に必ず入れ、職員全員で情報共有しています。事故等あった後にはその経験を活かせるように職員全員で見直し、検討を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回は訓練を行うように計画を立てて毎年施行し、その内1回は夜間を想定しています。訓練には、家族、地域の方、消防職員にも声をかけ合同訓練を行えるように計画しています。職員は法人内の施設へも訓練参加しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	必ずプライバシー保護の勉強会も計画し職員全員で行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者が何でも言える環境づくりを行っている。自己決定ができるよう工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日をどう過ごしたいか希望を聞いている。食事時間、臥床時間、起床時間など一人ひとりのペースに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日本人が着たい服を選んで頂き着てもらっている。衣替えは本人、家族の協力して頂き行っている。本人の希望を聞き月1回来て下さる理美容を利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おかずの盛り付け、配膳、食器洗い、食器拭きなど一人ひとりを活かし楽しく職員と一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分量を毎食時記録に残している。一人ひとりの嚥下、咀嚼状態に合わせ食事形態をかえ支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後歯磨きを行い口の中を清潔を保っている。夜間は入れ歯洗浄剤を使用している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を用い入居者の排泄パターンを把握し失敗を少なくするよう声掛けしトイレに誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日体操や廊下歩行を行い乳製品、かんてんゼリーを積極的に摂取しスムーズに排便が出来るよう工夫している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人の希望や体調に合わせて入浴を行っている。出来る事は行って頂き本人のペースで入浴している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	一人ひとりの生活習慣を把握し その人が安心して眠れるよう支 援している。また午後からも居 室で休息して頂けるよう支 援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	定期的に薬剤師より薬剤指導を 受けている。薬を管理し服薬確 認を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	入所時に家族に生活歴、趣味な どを聞き施設で楽しく過ごせる よう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	その日の本人の希望に応じて外 に散歩や畑に行き支援してい る。家族に協力して頂き外出 をしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。</p>	家族の承諾の元、本人の希望に 応じている。またほしい物があ れば職員と一緒にお店に行き 購入している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の要望があれば電話や手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間は刺激に配慮し不愉快にならないよにしている。リビングに季節に応じた飾りや壁画を入居者と一緒に作り飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファや椅子を置き入居者同士が話が出来よう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使い慣れた家具などを持ってきて頂き本人が居心地よく過ごせるよう家族と相談している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室や共有場所に表札を付けて分かりやすくしている。入居者の歩行の妨げにならないよう配慮している。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームげんき福田

作成日 令和元年9月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において地域や家族等から提言・質疑応答の記録を残し、次の会議に反映するよう意見を取り上げる。	・質疑応答の意見を頂けるように進行を行い、質疑応答の記録後は、次の会議に繋げるよう工夫を行う。	・地域包括支援センター職員の方から、他職場の会議に紹介して頂き、今後の運営推進会議に取り入れていく。 ・地域・家族様が参加しやすく楽しめるような工夫を行う。 ・質疑応答の記録をしっかりと残して次の会議に繋げていく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。